

ホロコースト犠牲者ロマ追悼集会

－ 8・2 広島 アウシュヴィッツ ロンドン －

8月2日（金） 18：30～20：00

広島市東区民文化センター

（山陽本線「広島」駅 徒歩 10 分）

講演テーマ：「**ロマのホロコースト**」

講師：金子マーティンさん

（反差別国際運動事務局次長、日本女子大学教授）

第2次世界大戦中、ナチス体制下で多くのユダヤ人がホロコーストの犠牲になりました。同時に、ヨーロッパ最大のマイノリティ集団であるシンティおよびロマは、50万人以上がナチスのホロコーストの犠牲となりました。特に、1944年8月2日には、アウシュヴィッツ・ビルケナウの「ジプシー」収容所に残されていた2897人全員が一晩のうちにガス室で殺されました。その大半は、高齢者、女性、子どもたちでした。ドイツ・シンティ・ロマ中央委員会はポーランド政府と協力して毎年8月2日にアウシュヴィッツで追悼集会を行っています。

戦後70年近く経つ現在も、ロマはヨーロッパにおいて差別と排除の苦難にさらされています。特に、近年のネオナチと極右集団の台頭は、激しい攻撃の矛先をロマに向けています。一方、侵略戦争と戦時下の深刻な人権侵害の歴史に明確に向き合うことを避けてきた日本では、歴史を否定し、闇に葬り去ろうとする動きがより顕著になってきました。私たちはそうした動きを許してはなりません。ヨーロッパのシンティ・ロマが歴史を直視するその日に、広島の地において私たちも世界、日本の歴史の真実に向き合い、無数の犠牲者に思いを馳せ、人権と平和確立の誓いをあらたにする集いをもちたいと思います。

なお、8月2日には、ポーランドのアウシュヴィッツに加え、ロンドンでも同じ目的でロマのホロコースト犠牲者を追悼する集会が開催されます。皆様のご参加をお待ちしています。

☆アウシュヴィッツ国立博物館常設展示

「**ナチス体制下におけるシンティとロマの大量虐殺**」
の写真を一部上映します。

（背景の写真はアウシュヴィッツ・ビルケナウ絶滅収容所、上記展示物カタログより）

参加費： 無料

主催： 世界人権宣言の実現を求める広島県実行委員会
反差別国際運動 (IMADR)

連絡先： 世界人権宣言の実現を求める広島県実行委員会
（部落解放同盟広島県連合会気付）

広島県尾道市防地町 24-17 TEL:0848-37-3295